

(資料 7-(1))

【再生可能エネルギー(政策)】 洋上風力発電 再生可能電力 クリーンエネルギー

仮訳

Thanet 洋上ウインドファーム (英国)

2008年11月、Vattenfall社は、「Thanet ウインドファーム(Thanet Offshore Wind Farm)プロジェクト」を買収した。建設工事は2010年9月に完了しており、100基のVestas社製V90型風力タービンを備え、その総発電容量は300MWである。これは、年間20万世帯分のクリーンエネルギー供給に十分な発電容量である。

また、現在稼働中の洋上ウインドファームでは世界最大の発電容量であり、政府の全国および地域の再生可能エネルギー開発の目標達成に著しく貢献することになるだろう。

Thanetプロジェクトは、Kent州の最東端であるForeness Pointから約12km離れた場所に位置している。陸上の建設工事の一部は、陸上設備がある旧Richborough発電所で2008年1月に着工された。

Vattenfall社は、英国で最大規模の風力発電会社の1つで、欧州では5番目の規模である。Kent州Herne Bay/Whitstable沖にあるKentish Flatsウインドファームも、Vattenfall社が所有している。

地域環境への影響を判断するために、環境影響評価の準備が行われてきた。これらの調査範囲については、しかるべき行政機関や環境保護団体の承認や了解を得ている。

対象地域へのメリット

このプロジェクト開発により、以下のようなさまざまなメリットがKent州東部に見込まれる。

風力発電地帯を完成させるための投資額は、総計約7億8,000万ポンド(975億円)^{注1}であるが、この費用の一部は、地方の電力供給業者や電力サービス業社への給付金に充てられた。

- ・このプロジェクトの開発支援には、地元の請負業者や労働者が使われた。

^{注1} 125円/ポンドのレートで計算

- ・ Ramsgate 港(Port of Ramsgate)には、地元のメンテナンス設備が建設されており、ここで雇用されている 21 名の内 20 名が East Kent 地域の住民である。
- ・ 観光客が増える可能性がある。多くの観光客が、過去に開発された陸上と洋上のウインドファームに魅力を感じている。
- ・ 地球温暖化の問題への取り組みを支援する the South East (London を中心とする英国南東部地域) の再生可能エネルギー展開に向けた目標達成に大きく貢献。

プロジェクトの概況

- ・ Thanet ウインドファームの 2010 年の発電容量が 300MW であるため、英国の洋上風力発電容量は 30%以上増加し、グリーンな電力を 20 万世帯に供給するのに十分な電力を供給するだろう。
- ・ この洋上風力発電地帯は、テムズ川河口の戦略的環境地域(Thames Estuary Strategic Environmental Area)に建設が見込まれる 5 つのウインドファームの 1 つである。
- ・ 同ウインドファームは水深 20~25m に位置し、35km²領域の範囲をカバーしている。
- ・ タービン 100 個を備えており、20 万世帯以上の電力を賄うのに十分な 300MW の再生可能電力を生産できる。
- ・ 最も近くにあるタービンは、Foreness Point の北東約 12km に設置されている。
- ・ 各タービンの最高部の高さは 115m であり、水面より 22m の最小クリアランスがある。
- ・ タービン間の距離は、列上の間隔が約 500m、列の間隔が 800m である。

翻訳：NEDO (担当 総務企画部 原田 玲子)

出典：本資料は、Vattenfall 社の HP 内の以下の記事 ”Thanet Offshore Wind Farm”を翻訳したものである。

<http://www.vattenfall.co.uk/en/thanet-offshore-wind-farm.htm>